

死亡手続きの一元化を 市長要求に

事務局長 井口捨三郎

家族（特に世帯主）が亡くなると、死亡に伴う健康保険や税金など市町村に届け出が必要で手続きが多くあり、窓口の一元化など遺族の負担を軽減する方策が求められている。手続きに必要な項目は最大五項目もあるといわれている。この他に銀行の手続きや法務局への相続手続きなどがある。窓口の一元化など何とかならないものだろうか。

相続人の本人確認書類（運転免許証等）がない場合は個人番号カード（マイナンバー）の作成から始めなければなりません。手続きから発行まで一か月かかるそうです。（夫（世帯主）なくした知人（妻）が市役所に手続きに行ったら、届出人の本人確認書類（自動車運転免許証やパスポートなど）がないため全く手続きができなかった。夫婦二人の家庭で知人は車の運転はしないので免許証はなく、また、パスポートも持っていないませんでした。本人確認書類には個人番号カード（マイナンバー）の作成が必要とのことだったのでいったんタクシーで家に帰り、通知カード（マイナンバー）をもつて再びタクシーで市役所へ、ようやく個人番号カードの発行手続きを行ったそうです。個人番号カードが発行されたのは一か月後、ようやく手続きを始めることができましたそうです。本人確認書類がないと銀行の手続き（名義変更等）もすべてできません。）

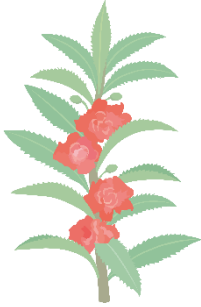
全国の先進自治体の取り組みを1〜2調べてみた。

石川県小松市は死亡に伴う諸手続きを一か所で扱う「お見送り手続きデスク」を設置している。市民サービス課が死亡届を受理後、各課がそれぞれ必要な手続きの有無を確認。手続きデスクに、あらかじめ必要書類をそろえておく。遺族が葬儀を終え、手続きに訪れると、仕切りのある個室で各書類に記入してもらい職員が相談に乗るというものである。また、死亡届の提出時に、諸手続きをまとめたガイドラインを窓口で渡し、デスクの利用方法も案内しているとのこと。



大分県別府市は「おくやみコーナー」を置き、必要書類をパソコンで一括して作成できるようにしているとのこと。

十日町市のホームページを見たら、ライフイベントから探す「おくやみ」コーナーがあり、内容は「死亡届」、「斎場の利用」等の手続きが載っていた。細かいことは各課任せになっていた。各課の手続き様式もほとんどがエクセルやワード様式でなくPDF様式、ダウンロードしても変換ソフトがないと入力・印刷できないものがほとんど。地域退職者連合は毎年一月に介護保険等の市長要請書を提出しています。今年度は一二月を予定。市役所に「おくやみ」窓口の設置、手続きについて死亡届が出されたら各課に必要な手続きの有無の確認を行い、手続き書類を取りまとめて遺族に一括手渡しや送付するなどの負担軽減措置を求めていく準備を進めています。皆さんの声をお聞かせください。



新運動方針決定 定期総会開催

五月二五日、ラポート十日町で第二〇回定期総会を出席代議員等（出席三〇名、委任状六名）で開催いたしました。

第一部の総会前段講演会は新潟県防災局原子力安全課飯吉栄輔課長補佐から「原子力発電の現状」（にいがた県政出前講座N〇・五七）と題し講演をいただきました。柏崎刈羽原発の現状、新潟県の原子力行政そして福島第一原発事故を受けた取組みについてパワーポイントを使って説明を受けました。新潟県は「原発事故に関する三つの検証」を進めていると説明がありました。

十日町地域は柏崎から近く事故による影響を心配しています。特に冬期間は積雪により道路が通行止めになる区間もあり事故時の避難は困難を極めると思われます。しっかりとした検証が行われるようみなで見守りましょう。

第二部の第二〇回定期総会では出口会長

のあいさつの後、活動報告・会計報告・会計監査報告の承認、続いて新運動方針と予算の審議が行われ原案どおり可決されました（総会には早川県退職者連合会長、梅谷守国民民主党新潟県第六区総支部長、太田祐子十日町市議会議員からメッセージをいただきました。）

第三部の恒例の懇親交流会は、山口連合十日町支部長・今井芳金十日町支店長・菊池全労済長岡支所長代理から祝辞をいただいたのち乾杯、お酒を飲み交わしながら交流を深めました。



プラカード展に参加



第九〇回十日町地区ミーデーが四月二十七日越後妻有文化ホールで開催されました。当日は雨でデモ行進は中止になりましたが、地域退職者連合から集会には二六名、昼食交流会には一三名が参加しました。今年のメインスローガンは「格差をなくし、平和を守る！笑顔あふれる未来をつくろうすべての仲間の連帯で！」

核兵器の廃絶を

第六五回原水爆禁止十日町市民大会が八月六日、キナーレで開催されました。地域退職者連合から一六名の会員が参加しました。猛暑の中で市民の願いである核兵器の廃絶に向けて確認を行いました。今年の広島市の「原爆死没者慰霊式・平和記念式典」に、会員の野上正一さん（NTT退職者の会）が参加しました。



思いあらたに

NTT労組退職者の会
野上 正一

今年の広島市派遣団に連合枠をいただいて参加することができました。

広島市原爆死没者慰霊式並びに平和記念式は五年ぶりの雨のなか行われました。こども代表による「平和への誓い」が読み上げられたなかで、「被爆者の思いに、私たちの思いを重ねて、平和への思いを世界につなげます」の言葉は私の心に強く響きました。一方、政府を代表して挨拶に立った安倍首相は「被爆者の思い」に真摯に思いを重ねようとしたのか？世界唯一の被爆国でありながら、核兵器禁止条約への署名・批准に踏み出せない現状には怒りさえ覚えました。原爆ドーム前では「連合広島」の皆さんが署名活動をしておりましたので協力しました。広島原爆養護ホーム「舟入むつみ園」には、私の出身労組が毎年小学校五、六年生

を対象に実施している「広島ピース号」の皆さんが訪問した際の写真が掲げてありました。被爆者の方からつらい体験をお聞かせいただくなかで、東日本大震災時の原発事故にも思いを重ねました。

七年前、エノラ・ゲイから投下された原子爆弾の悲惨さ、残酷さは、展示された資料を見たり、被爆体験者の話に耳を傾けるなかで胸を締め付けられる思いがしたのは私だけではないと思います。

一人でも多くの人が「被爆者の思い」、「広島島の思い」を受け継ぎ、連帯する活動をこれからもしていかなければならないと強く思いました。しかし、現状は「核兵器廃絶」とはむしろ逆の方向に向かっていることを踏まえ、「核兵器なき世界を実現」するには「思い」や「祈り」にとどまることなく、私も含め一人ひとりの行動が重要であると思います。原爆犠牲者の声なき声に応えるには、今まさに、「私たちの覚悟」が問われているとの思いを新たにしました。

残された人生、「反戦・反核」の運動を続

けていきたいと改めて思いました。

学習会の案内



演題

「改正相続法」について

…相続に関するトラブル防止のために…

日時

一〇月二六日（土）

午後二時

会場

情報館「視聴覚ホール」

講師

アドリテム司法書士法人外山敦之氏

相続法が改正され七月一日に施行されました。改正相続法の概要と相続に関するトラブル防止のために、やっておくべきことなどについて、みんなで学習しましょう。

参議院選挙

打越さくらさん当選

七月二一日投票で戦われた参議院選挙で、新潟選挙区で野党統一候補の「打越さくら」さんが、自民党の塚田一郎候補を振り切り当選しました。付度政治や弱者切り捨ての政治から「誰一人取り残さない政治」の実現に向けて活躍が期待されています。「打越さくらを囲む会」が開催されます。

日時

一〇月五日（土）午後四時

会場

レポート十日町

会費

四,〇〇〇円